

**この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。**

受付印		調停 家事 申立書 事件名( 財産分与 ) 審判	
		(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)	
収入印紙	円	(貼った印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手	円		

旭川 家庭裁判所 御 中 平成 年 月 日	申 立 人 (又は法定代理人など) の 記 名 押 印	印
-----------------------------	-----------------------------------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	準 口 頭
------	--------------------------------------	-------

申 立 人	本 籍 (国 籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
	住 所	〒 -	( 方 )
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日生 平成 ( 歳 )
相 手 方	本 籍 (国 籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
	住 所	〒 -	( 方 )
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日生 平成 ( 歳 )

(注) 太枠の中だけ記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

### 申立の趣旨

相手方は申立人に対し / 申立人は相手方に対し 財産分与として  
相当額を支払うとの調停を求めます。

### 申立ての理由

- 1 相手方と結婚した日 平成 年 月 日  
相手方と別居した日 平成 年 月 日  
相手方と離婚した日 平成 年 月 日

---

  - 2 婚姻中に夫婦で協力して得た財産は、別紙財産目録記載のとおりです。その財産を得るために次のような協力をしました。（複数回答可）  
資金を提供した。 稼働し収入を得た。 主婦として家計を支えた。  
その他（ ）

---

  - 3 次のとおり財産分与を求めます。  
金銭の分与を求める。（金 円）  
下記の財産の分与を求める。  
（別紙財産目録 記載例の不動産の場合は 2 - 1）

---

  - 4 財産分与に関する取り決め  
ある ない  
（具体的な内容）  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- 以上

## 財産目録

## 1 現金・預貯金・株券等

番号	金融機関名 (本支店名も記入)	種類	口座番号	金額	名義
1-1	(記載例) 銀行 支店	普通	12345	1,000,000 円	相手方
1-1				円	
1-2				円	
1-3				円	
1-4				円	

## 2 土地・建物

番号	所在地・地番	地目・種類	固定資産評価額	名義
2-1	(記載例) 旭川市花咲町4丁目	宅地	万 円	相手方
2-1			円	
2-2			円	
2-3			円	
2-4			円	

## 3 保険(生命保険・損害保険・学資保険等)

番号	保険会社名	種類	保険証券番号	保険金額	名義
3-1				円	
3-2				円	
3-3				円	
3-4				円	

## 4 負債(住宅ローン等)

番号	種類・債権者氏名等	債務額	名義
4-1		円	
4-2		円	

## 5 その他(自動車等)

番号	品目	金額	名義
5-1		円	
5-2		円	
5-3		円	

欄が不足する場合は4頁目に記載して下さい。

## 財産目録

## 6 その他

番号	品目	金額	名義
6-1		円	
6-2		円	
6-3		円	
6-4		円	
6-5		円	
6-6		円	
6-7		円	
6-8		円	
6-9		円	
6-10		円	

## 進行に関する照会回答書

これは調停進行の参考のためにうかがうものです。

これは相手に送付されませんし、相手に見られることはありません。

<p>参考に都合の悪い曜日・希望の曜日を記入してください</p>	<p>申立人が都合の悪い曜日 曜日 午前・午後</p> <p>申立人が希望する曜日 曜日 午前・午後 ( 土・日・祝日を除く )</p> <p>特になし わからない</p>	<p>相手方が都合の悪い曜日 曜日 午前・午後</p> <p>相手方が希望する曜日 曜日 午前・午後 ( 土・日・祝日を除く )</p> <p>特になし わからない</p>
<p>あなたと相手の電話番号を記入してください(平日の昼間に確実に連絡を取れる電話番号を一つ以上記入してください)</p>	<p>裁判所と名乗って連絡</p> <p>自宅( ) 可 不可</p> <p>携帯( ) 可 不可</p> <p>職場( ) 可 不可 (社名 )</p> <p>その他( ) 可 不可</p>	<p>裁判所と名乗って連絡</p> <p>自宅( ) 可 不可</p> <p>携帯( ) 可 不可</p> <p>職場( ) 可 不可 (社名 )</p> <p>その他( ) 可 不可</p>
<p>あなたの連絡先について記入してください</p>	<p>申立書記載のとおり 住所等(申立書と異なる理由: 相手に秘匿したい 転居したため)</p>	
<p>相手の暴力について記入してください。</p>	<p>相手から暴力を振るわれたことはありますか。 ある ない (「ない」にチェックした場合は以下の記載は不要です。)</p> <p>相手の暴力はどのような内容ですか。 怒鳴る。物を投げる。殴る・蹴る。凶器を持ち出す。 その他( )</p> <p>相手は裁判所でも暴力をふるう可能性はありますか。 ある( 行き帰りの際にある。裁判所内でもある。 ) ない 分からない</p> <p>配偶者暴力に関する保護命令の申立て(DV防止の申立て)をしましたか。 はい(平成 年 月 日) いいえ</p> <p>申立てをした方へお聞きします。保護命令は出ましたか。 はい(命令書のコピーを出してください。) いいえ</p>	
<p>裁判所に特に配慮を求める事項がありますか。</p>	<p>ない ある(以下に配慮を求める内容を記入してください。)</p>	